

世界を根底から 変革し救うために

学長 芳賀 力



東京神学大学の校章の由来

東京神学大学の校章は、ギリシア語で神学を意味するテオロギア (theologia) という単語をアレンジしたものです。テオロギアとは、テオス (thos) についてのロゴス (言葉・学問) という意味です。神学の学び舎では、箸の上げ下げに至るまで、神学することが求められます。

「見よ、わたしはわたしの言葉を あなたの口に授ける」 (エレミヤ書 5:14)

「なぜ、糧にならぬもののために銀を量って払い、飢えを満たさぬもののために労するのか。わたしに聞き従えば、良いものを食べることができる。あなたたちの魂はその豊かさを楽しむであろう」(イザヤ55:2)。第二イザヤと呼ばれる預言者が神の召命を受けて神の言葉を語り始めた時、イスラエルはまだバビロン捕囚のただ中にいました。暗い谷間の時代です。人々は半ば諦めと惰性から、あるいは目先の小さな自分だけの幸福を得るために、確かな希望を抱くこともなく、その日暮らしの日々を続けるか、空しいもののために労苦していました。そのような時代に預言者が召し出されます。神の言葉を語るために。そして魂の飢え渴きをいやす本当の救いをもたらすために。一見するとそ

れは無駄な抵抗のように見えました。しかし預言者は確信しています。「雨も雪も、ひとたび天から降れば、むなしく天に戻ることはない。それは大地を潤し、芽を出させ、生い茂らせ、種蒔く人には種を与え、食べる人には糧を与える。そのように、わたしの口から出るわたしの言葉も、むなしくは、わたしのもとに戻らない。それはわたしの望むことを成し遂げ、わたしが与えた使命を必ず果たす」(イザヤ55:10-11)。イエス・キリストの福音はそのような神の言葉です。神の言葉を失った現代社会に神の言葉を語るために、今こそそれを語る伝道者が求められています。日本基督教団立の神学教育機関である本学に入学し、福音を宣べ伝える神の業に、ぜひあなたも参与してほしいと思います。



大学認証評価

本学は2012(平成24)年度の公益財団法人大学基準協会の大学評価(認定評価)を受け、大学基準に適合していると認定されました。認定期間は2020(平成32)年3月31日までとなっています。

東京神学大学神学部神学科 アドミッション・ポリシー〈入学者受け入れ方針〉

本学は以下のような能力・意欲等をもつ学生を求めます。

- (1) 召命を確信し現代人の問いに答える福音を語る伝道者をめざす者
- (2) 神学の学びを志す者
- (3) 神に仕え、隣人に仕える積極的な姿勢を有する者
- (4) 幅広い知識と豊かな教養を身につけ、コミュニケーション能力を高めたいと願う者
- (5) 基礎学力を有し、論理的思考ができる者